

## 日本物理学会 領域2 運営会議 議事録

日時： 2010年9月24日（金）12:00-13:25

場所： 大阪府立大学中百舌鳥キャンパス（日本物理学会2010年秋季会場）QA会場

出席者： 約40名

### 報告事項

- (1) 2010年10月からの役員体制と役割分担案について紹介があった。（100924 運営会議資料.pdf 2-3 ページ）
- (2) 日本学術会議報告「学術の大型施設計画・大規模研究計画」（マスタープラン）および学術分科会研究環境基盤部会「学術の大型プロジェクトの推進について」（ロードマップ）に関する報告があった。（100924 運営会議資料.pdf 3-14 ページ）
- (3) プラズマ宇宙物理3学会合同セッションに関する報告があった。
- (4) PLASMA2011に関する報告があった。（100924 運営会議資料.pdf 14 ページ）

### 審議事項

- (1) 若手奨励賞の審査結果の報告があった。また、領域2 受賞規定（案）および細則の変更に関する報告があり、承認された。物理学会理事会で承認されれば来年から施行する。（100924 運営会議資料.pdf 15-16 ページ）
- (2) 学生優秀発表賞は、領域2 が独自に試行することが報告された。また、具体的な手続きが提案され、承認された。（100924 運営会議資料.pdf 17 ページ）
- (3) 日本学術会議報告と科研費「系・分野・分科・細目表」の見直しについて、専門研究員の岡村昇一氏から説明があり、議論された。また、プラズマ科学と核融合学の発展的継続を物理学会へ提言してはどうかという意見が出され、承認された。今後も継続的に意見を発信していく必要性が認識された。「プラズマ科学」のキーワードに、プラズマ複合領域、プラズマ粒子加速、高エネルギー密度科学を加える、また「核融合学」の周辺プラズマを周辺プラズマ・ダイバータとし、また加熱工学、プラズマ対向機器を加えてはどうかという意見があった。歴史的に決まってきたということはわかるが、キーワードを整理してはどうかという意見があった。（100924 運営会議資料.pdf 18-20 ページ）
- (4) 第66回年次大会でのシンポジウム、招待・企画講演の提案（100924 運営会議資料.pdf 21-26 ページ）  
《招待》  
「シンクロトロン放射 X 線源に向けたプラズマ中の高強度レーザー伝搬とレーザー航跡場電子加速に関する研究」 講演者 松岡健之氏 提案者 羽原英明氏  
「渦に注目するプラズマ宇宙物理の新展開」 講演者 吉田善章氏 提案者 菊池満氏

「低温プラズマにおけるレーザートムソン散乱法の開発とその境界層プラズマ研究への適用」 講演者 門信一郎氏 提案者 安藤晃氏

《シンポジウム》

「極限高強度場の科学」(合同：領域2, ビーム物理, 理論核物理と実験核物理へは打診済) 西村博明氏 (阪大)

「高温プラズマにおける高Z多価イオンの分光と原子構造に関する研究の新展開」 森田繁氏 (核融合研)

《企画 (チュートリアル)》

今のところなし

以上

2010年9月24日

領域2運営委員会 幹事 古川勝

\* 参考 (音声ファイルあり: 100924領域2運営会議.mp3)